

「いたばし区議会だより」(第162号):「“検討”」とされている答弁および関連の質問一覧

	「“検討”」とある答弁	答弁に関連する質問	質問した議員(敬称略)	ページ
1	区の負担の引下げを“検討”。	大山福祉作業所運営法人は黒字。区が賃料全額を負担する必要はないのではないか。	菊田順一	
2	事業所数減少や新規立地推進のための対策を“検討”する	産業空洞化を抑え、区内企業をさらに伸長させるための新たな対策を。		
3	海外企業によるシンポジウムを機会に、可能性を“検討”。	アジアの都市と産業経済分野での国際交流を実現し、産業経済の海外戦略推進を。	佐々木としたか	
4	京都市などの条例を参考にマンション対策を“検討”する。	マンションが抱える課題の解決やコミュニティへの参加促進のための施策が必要。京都市や豊島区のように推進策を条例で制定すべきでは。		
5	調査の実施時期などについて内部で“検討”を進める。	区内の老朽危険建築物について、調査の実施を。	はぎわら洋一	
6	公開の仕方を“検討”する。	自身の能力度を把握してスキルアップを図るスキルマップや、身近な交通環境を視覚で訴えて交通安全の意識啓発を図るトラフィックスクールといった区職員のすぐれた取り組みは区ホームページでも紹介すべきである	なんば英一	P3
7	実施に向けて“検討”する。	いじめ問題などの早期解決を図る学校緊急対応チームの相談員を教員の研修に交えた、体験交流の実施を。		
8	新元氣リフレッシュ事業は事業縮小の方向。児童館は適正配置などを“検討”する。	新元氣リフレッシュ事業、児童館および社会教育会館は縮小すべきではない。見解を。	松崎いたる	
9	社会教育会館は総合的なあり方を“検討”する。			
10	引き続き“検討”していく。	スクールゾーンの時間帯の見直しと、運転者にも分かりやすい表示の工夫を。		
11	“検討”する。	点検で明らかになった危険箇所の公表を。	いわい桐子	
12	関係部署と“検討”中であり、調整している。	仮称シニア活動センター開設の進捗状況は。		
13	“検討”を要する学校規模に至る前に情報提供や意見交換を行い、十分な協議・対策の期間を確保したい。	学校が過小規模化する前に協議会の開催を。	おなだか勝	
14	市民後見人の育成活用は、今後の高齢者社会に必要。“検討”を進めていく。	市民後見人を活用するため、区が積極的に取り組みを。	長瀬達也	
15	今後、保護者に対する啓発を“検討”したい。	幼稚園・保育園に自転車で来る方に交通安全の指導を。	高橋正憲	
16	現在は、公園内の田んぼの田植えの時期のみ水を流している。川の流れをどうしていくかは、地域の住民と話し合っ“検討”する。	水車公園の前谷津川の水の流れが止まっている。以前のような清流に戻すことはできないか。		
17	病院や交番などのAEDは、24時間使用可能。情報提供を“検討”する。	24時間使用可能なAEDの場所を区民に周知することを要望する。		
18	洪水時には防災無線や広報車などを使い、高台や浸水しない避難所への避難を周知する。国、地域住民、区内行政機関による地域防災力向上会議で具体的な避難の“検討”を行っている。	荒川堤防決壊時の水害対策はどうなっているか。	安井一郎	
19	中高層建築物や高架の都営三田線の駅の活用を“検討”する。	浸水からの避難が遅れた住民のために、高層住宅を避難所に指定すべき。		
20	すでに導入している自治体を調査し、“検討”する。	ごみ集積場のカラス対策に使用している防鳥ネットを、カラスに忌避効果が高い黄色のネットやカプサイシンが含まれたものに変更を。		

21	現在の社会情勢や財政状況の変化に対応し、必要な見直しを行う。見直しに関しては、選択と集中の視点を明確にして取り組む。また、区民生活に密着する分野については十分に“検討”し、納得を得られるように進める。	現在、板橋区経営革新計画やいたばし1実現プラン2015のローリング(計画改訂)をはじめ、事務事業の総点検が行われている。人口減少社会が進展する中、計画改訂には持続的な発展を可能とする中長期的な視点が必要である。区長はどのような考えで、この計画改訂に臨むのか。	
22	24年度は、補助金と負担金の総点検による見直しを行い、25年度予算に反映させる。また、25年度中には総額の抑制も考えた“検討”を行う。	厳しい財政状況のもとでは、区が交付している補助金や負担金の見直しが必要。交付先の事情など個々の内容を十分に点検して削減すべき。	川口雅敏
23	厳しい財政状況を踏まえると、民間を活用した事業手法は有効と考える。早期に活用方法を決定するために“検討”する。	使用を廃止した旧板橋保健所などの施設や統廃合によってできた学校の跡地は、民間活力を使って有効活用すべきである。また、活用する計画がなければ、放置することなく積極的に売却すべきと考えるが、区長の考えは。	
24	フットサルだけでなく、子どもや高齢者向けのスポーツなどの利用を含めて“検討”していく。	フットサルの普及に資する運営を行うとともに、他のスポーツ競技の利用についても“検討”を。	
25	地域開放は地元町会の意向を踏まえて“検討”していく。防災拠点は都下水道局と協議をしていく。	町会のイベント用広場などの地域開放や防災拠点としての利用を。	荒川なお
26	あっせん制度などの支援策を“検討”する。	防災リーダーに発災時の人命救助や避難誘導に積極的にかかわってもらうことを期待するならば、がれきの中で活動しやすい安全靴とヘルメットこそ優先して貸与すべきでは。	
27	現状では青少年関連の事業を、答申に示された具体的な政策や計画として推進する状況には至っていない。今後、教育委員会を中心に“検討”を始める。	23年3月に青少年問題協議会で出された答申の具体的な政策展開、実施計画の進捗状況は。	稲永壽廣
28	既存施設の活用を含め“検討”を開始している。	小・中学校の統廃合による跡地利用とあわせて、青少年対策の拠点となる青少年センター設置に向けた“検討”を。	
29	保育園について様々な手法を“検討”。	区立幼稚園・保育園の民営化と認定こども園化の推進を図れ。	
30	尼崎方式は困難。	腎臓病の機能チェックとして尼崎方式の“検討”を。	
31	今後の“検討”課題。	内部呼吸器障害3級、難病患者で呼吸器機能低下の方にパルスオキシメータの助成を。	佐藤康夫
32	新設・大規模改修で“検討”。	上板橋駅北口商店街などの自転車駐車場への搬送用コンベア・エレベーターの設置を。	
33	24年度中に、自殺対策の庁内連絡会を設置する方向で“検討”する。関係機関に対しては、連携を模索し、ネットワーク作りを進める。ゲートキーパー育成については、育成研修を継続して実施し、職員の参加を呼びかける。	自殺者を減らすため、自殺対策に係る庁内連絡会の設置、区内関係団体とのネットワークづくり、職員を相談者のSOSに気がつくゲートキーパーとして養成を。	かなざき文子
34	研究を進めている。実施時期は関係機関と協議のうえ、“検討”する。	ジェネリック薬普及促進のため広島県呉市の差額通知サービスの導入を。	
35	現状では考えていない。都や他区の動向、財政状況を踏まえて“検討”していく。	一般不妊治療費助成事業の実施を。	長瀬達也
36	庁内の各部にまたがる課題に対応するため、各種“検討”本部を設置し、実効性ある対応ができるよう取り組む。	区の事業において、行政分野をまたがって共通する課題を解決していく政策策定の仕組みづくりを。	
37	児童館において、障がい者や高齢者を含めた地域の人々と子どもたちが、どのようにかかわることができるか“検討”を進めていく。	児童館を世代間の交流の場として開放し、地域からの要望を受ける場として活用を。	井上温子

P4, 5

P6